

中国ニードルコークス市場近況

(2020年8月)

6月中旬から中国市場のニードルコークス(以下「NC」という)価格が下落しており、7月末まで、石油系NCのメーカー希望価格は前月比で約17%下落し、石炭系NC価格は前月比で約18%下落した。

現在、NC生産企業は市場取引価格の影響を受けて生産計画を下方修正している。

一、現時点におけるNC価格の状況について

中国国内で生産するNC価格では、

- 石炭系NC価格は4,500～5,500元/トン(約6.9～8.5万円/トン、1元=15.4円で換算)、
- 石油系NC価格は4,800～6,500元/トン(約7.4～10.0万円/トン)、
- 生コークスは3,800～5,000元/トン(約5.9～7.7万円/トン)である。

輸入するNCでは、

- 石炭系NC価格は680～1,300ドル/トン(約7.3～13.9万円/トン、1ドル=106.9円で換算)、
- 石油系NC価格は950～1,350ドル/トン(約10.2～14.4万円/トン)、
- 負極用コークスの価格は650～1,000ドル/トン(約6.9～10.7万円/トン)である。

二、石油コークスについて

7月に石油コークス市場取引は平常通りであり、市場価格は小幅な動きがある。大慶石化のコーキング装置は7月初めから点検とメンテナンスを行い、7月20日に完了し、その後順調にコークスを生産している。コークス価格は月初めの1,600元/トンから1,500元/トンに下落した。

情報により、価格調整した理由は下流市場の需要が減少したからである。全体状況からみると、石油コークスの市場価格はさらに下がる可能性があるが、第4四半期には市場が徐々に回復すると推測されている。

三、石炭ピッチについて

7月、石炭ピッチ市場は低価格で維持している。

コールタル市場価格は2,300～2,500元/トンである。

石炭ピッチを生産する企業にとってはコスト高で、下流企業の注文が慎重に動く動向でもあり、短期的に成り行きを見ている。